

2022年7月15日

長岡市長 磯田 達伸 様

医療法人 メディカルビットバレー
エールホームクリニック



理事長/内科医師	澁谷	裕之
内科医師	伊藤	朋之
小児科医師	鈴木	竜太郎
皮膚科医師	苅谷	直之
内科医師	田村	真麻
皮膚科医師	藤本	篤
内科医師	倉科	健司
皮膚科医師	松井	彰伸
皮膚科医師	梅森	幸恵

若い世代の3回目を中心とする新型コロナウイルスワクチン

接種加速化についての提言

長岡市が4月末をもって本格的なコロナワクチンの3回目集団接種を終えてからも当クリニックの3回目接種だけでおよそ8千人の方から接種にお越しいただいています。

この間、新型コロナの感染状況は拡大と縮小を繰り返しており、今月に入ってから急拡大がはじまり、現在まさに第7波の到来を迎え極めて警戒すべき状態となっています。

この感染拡大の背景として、副反応を警戒する若年層のワクチン接種が遅れていることが考えられます。

当クリニックでは、ファイザー、モデルナに加え、比較的副反応が少なく若年層への接種に向いているノババックスワクチンも接種可能であり、この3つのワクチンと平日休日問わずに稼働可能であるエールワクチンセンターの活用により、あらゆる年代のワクチン接種ニーズにしっかり対応しています。

私たちが実践している、この「新しい価値」を長岡市もぜひ受け入れていただき、長岡市と当クリニック双方が持つ強みを活かしてワクチン接種の加速化にご協力させていただきたいと思います。

つきましては、長岡市のワクチン戦略を再考いただき、広報やワクチンの適正配分を通じて接種加速化に当クリニックを積極活用くださいますようお願いいたします。